



太陽の時代



kiramekikids

太陽の時代

今まさに昇れ、今まさに昇れ
太陽の時代、太陽の時代

日暮れ時が近づいている
静かに、静かに、近づいている
闇が足音も立てずに近づいている

今、ひとつの時代が終わろうとしている
今、ひとつの時代の幕が降りようとしている

出口のない真っ暗な森の中を人々は彷徨っている
ある人は、泣いている・・・恐ろしさのあまり
ある人は、叫んでいる・・・何も見えなくて
ある人は、震えている・・・どうすることもできなくて
ある人は、絶望している・・・希望を失って・・・

ああ
誰もどうすることもできずに
ただ、立ちつくしている・・・

人々は、死刑を宣告された罪人のように
青ざめている・・・

沈黙の時間の中をただ、かげろうのようにはかなく、
濁流の中で揉みくちゃにされている木の葉のように弱々しく、
砕け散るのを待つばかり・・・

その時です
どこからともなく声が聞こえてきました

「祈りなさい、求めなさい、願いなさい、信じなさい」

その響きは、繊細で
今にも風の音にかき消されそうでいながら
やさしく、あたたかく、それでいて
荘厳な声でした

ある人が言いました
「一生懸命祈ろう

清い心で、美しい心で、愛ある心で、優しい心で」

「はやく、みんながこの暗闇の森からでられますように
多くの人たちが、この逆境に負けず、
力強く生きていけますように」

「この深き混迷を打ち破ることができますように」
「この挫折から立ち直ることができますように」

心ある人々は、心の奥から祈りました
それは、長い、長い沈黙でした

すると
人々の耳に、優しい足音が聞こえてきました
足音だけでは、ありません
あたたかい息遣いも感じました

人々は、目を開けて振り返りました
そこには、黄金色に輝く大いなるお方が
立っておられました

そのお方は、みんなに言いました
「私に、ついてきなさい
ただ、ついてきなさい」
人々は、そのお方の方へ歩いていきました

しかし、まだ多くの人達が、このことを
知らずにいます

あなたの友達も、私の友達も
私の兄弟も、あなたの姉妹も

多くの方がまだ知らないのです
多くの方がまだ悲しみに打ち拉がれているのです

ならば、
さあ教えよう
われら一丸となって
さあ伝えよう
愛のかたまりとなって
さあ広げよう
この真理を

さあ立ち上がれ
主と共に
ただ、主のために
主のことばを
この声、高らかに
暁にラッパを鳴り響かせるが如く

もうすぐ
日が昇る
この喜びを
この感動を
多くの人々と共に

今まさに昇れ
今まさに昇れ

主エル・カンターレと共に

太陽の時代 太陽の時代

さあ新しい時代の幕開けだ
数億年に一度のすばらしい瞬間
天上界の夢、
われらまさに、主の道具として
主の僕として、主の一部として
主の手足として
この大事業を成功させ
この聖なる戦いに勝利する

太陽の時代を成就するのは
わたしであり、あなたでもある